

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

81

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	海浜清掃事業費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	沿岸漁業の振興を図るために漁業環境の保全を目的に補助する。交付先: 西三河漁業協同組合、 衣崎漁業協同組合、吉田漁業協同組合、一色うなぎ漁業協同組合		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	744,000円	720,000円	684,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H26	終了年度(予定) H30
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2016/11/28受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		
	※ 検討していない理由		
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以上である
	※ 補助対象経費の額	1,483,398円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)			
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
	1回当たりの清掃事業費を見直し、3分の1以下に補助額を下げ継続していく。		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

81

農林水産課

補助金の名称 （規則・要綱名）	海浜清掃事業費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	4 農・水産業
	施策内容による分類	2 農・漁業経営環境の強化
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 （可能な限り数値的な目標を記載）	海岸及び河岸清掃を年間20.8km行い、補助終了年度の平成30年度までに104kmの清掃を行うことが目標である。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	平成29年度までの清掃距離が83.2kmであった。進捗率 $83.2\text{km} \div 104\text{km} = 80\%$	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られる
⑤補助の恩恵を受ける人（受益者）を記載してください。	直接的な補助の恩恵を受けているのは4団体（西三河漁業協同組合（組合員436人）、衣崎漁業協同組合（組合員353人）、吉田漁業協同組合（組合員296人）、一色うなぎ漁業協同組合（組合員222人））であるが、海浜清掃を行うことで、景観向上による観光への影響や、生物の誤飲誤食、海底へのドロ化を防ぎ、生物生息環境の向上が図られ、暮らしに欠かせない様々な恩恵を受ける。	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	西三河漁業協同組合、衣崎漁業協同組合、吉田漁業協同組合、一色うなぎ漁業協同組合	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	毎年継続し実施しているが最下流の海岸には、上・中・下流域からの漂流ゴミや、台風等の影響により発生する流木等が集まるため、継続的な実施が必要である。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	出役作業費、トラック借り上げ料、除草剤等消耗品費について、実績報告書と収支報告書の提出を求め、提出書類の審査をしている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成23年04月01日
	改定年月日（最終）	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票 (第5次実行計画)

81

農林水産課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	744,000円	720,000円	684,000円	
	補助件数	4件	4件	4件	
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	744,000円	720,000円	684,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	B	B	A	B	B	C
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	現状維持		いろいろな名称でいくつかの補助が出ているので、どの団体にどの程度補助しているかわかるような仕組みの再構築は必要と考える。			
補助金等検討委員会の主な意見						
進捗率を目標とすることに疑問がある。						
養鰻水路清掃は特定の業種への補助となり、特定業種の事業によって水路が汚くなっているものに対する補助となり公平性は低い。うなぎに対する補助を整理し、別の補助方法にしてもいいのではないか。						
手作業でやるのが良いのか等、清掃の手法を考える必要がある。						
補助団体によって日当の算定根拠が違うのは疑問があるため、出役作業費は各団体で統一された方が良いと考える。						